

3-2	ワクチンの特許を放棄せよ！	所属 東洋大学文学部 氏名 栗原 久
資料名	時事通信社「G7、ワクチン特許放棄で溝 米仏は賛成、独は慎重」 (https://www.jiji.com/jc/article?k=2021061200179&g=int 2021年6月12日配信)	
資料内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2021年6月11日に開幕したG7では、新型コロナウイルスワクチンの特許権の一時放棄が議論となった。 ○ アメリカ・フランスは特許放棄に賛成、ドイツは慎重な姿勢である。 ○ 特許の放棄により、世界的にワクチンの製造が増加、発展途上国にも安価で提供できることが期待される。 ○ 「今回のG7サミットでは、人類の利益よりも製薬会社の利益を優先することをやめるべき」という意見もある。 	
教科書等との関連	中学校公民的分野 自由権 知的財産権 生産活動と企業 高等学校公民科 自由権的基本権 知的財産権 市場経済の機能と限界	
キーワード	コロナ 知的財産権 インセンティブ 市場の失敗	
ねらい	◆「市場経済のしくみ」で企業の行動原理（利潤最大化）や独占などについて学習した後に、特許権が市場経済で果たしている意義と影響について理解させる。	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>発問</p> <p>「2021年6月にイギリスで開かれたG7サミットでは、新型コロナウイルスワクチンの特許権の一時放棄が議論となりました。製薬会社がワクチンの特許権を放棄すると、どのようなことが期待できますか。一方、特許権が認められなくなると、ワクチンや新薬などの開発にどのような問題が生じますか。」</p> <p>解説</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの開発には、モデルナやファイザー、アトラゼネカなどの民間企業が政府の支援を受けながら成功しました。ワクチンの開発には困難がともないますが、成功した企業には特許権によって、生産の独占が認められます。これにより、巨額の利益が期待できます。</p> <p>一方、特許権により生産の独占が認められると、価格が高止まりしがちになるため、低所得国ではワクチン接種が進まなくなる可能性があります。このため、G7では、発展途上国のワクチン接種を促進するために、特許権の一時放棄を求めることが議論されたのです。</p> <p>では、特許権を認めなくなると、どのような問題が生じるのでしょうか。ワクチンや新薬の開発に成功した企業は、多くの利益を得ることができます。この利益が、ワクチンや新薬開発のインセンティブになります。もし、特許権が認められなければ、ワクチンや新薬の開発リスク（巨額の開発費をかけても、失敗するリスク）を負う企業がなくなるでしょう。」</p>	
備考	授業の最後では、「ワクチンの特許権の放棄を求めるべきかどうか、製薬会社の経営者、発展途上国や先進国の政治指導者などの立場になって議論しましょう」と対話的な学びを取り入れたい。	